

厚生労働省  
群馬労働局発表  
令和4年4月26日

【照会先】

群馬労働局労働基準部健康安全課  
課長 吉永 宜司  
地方産業安全専門官 鈴木 淳  
(電話) 027-896-4736

報道関係者 各位

## 令和3年の労働災害発生状況について（確定）

### － 死亡者数、死傷者数とも前年より増加 －

群馬労働局（局長 加藤博人）管内における令和3年の労働災害発生状況は、休業4日以上の死傷者数は2,735人、前年より228人（9.1%）増加、うち死亡者数は14人、前年より4人（40.0%）増加し、死亡者、死傷者とも前年より大幅に増加しました。

令和4年は、同年3月末現在の速報値で、死亡者数は1人と前年同期より4人減少している一方で、休業4日以上の死傷者数は701人、前年同期比で249人（55.1%）と大幅に増加しています。

群馬労働局管内の労働災害による死傷者数は、昭和54年の6,325人をピークに長期的には減少したものの、近年は2,000人台で増減を繰り返し、令和2年からは増加傾向にあり、憂慮すべき状況となっています。

群馬労働局では、第13次労働災害防止計画（平成30年度～令和4年度）に基づき、労働災害が増加傾向にある業種等を中心に労働災害防止対策の一層の推進を図るとともに、特に、小売業、介護施設を中心に増加傾向にある「行動災害」<sup>(※1)</sup>への対策を支援する取組等を進め、管内全体の安全衛生に対する一層の気運醸成を図る等より効果的かつ効率的な対策を推進します。

(※1) 「行動災害」… 「転倒」「動作の反動・無理な動作」など職場における労働者の作業行動を起因とする労働災害

#### 1 令和3年 労働災害発生状況

(1) 休業4日以上の死傷者数 2,735人 前年比 228人（9.1%）増加

《 前年と比較した主な特徴 》

##### ① 業種別

・死傷者数の多い主な業種

製造業 784人、保健衛生業 421人、商業 374人

・死傷者の増加した業種

保健衛生業 98人（30.3%）、建設業 20人（8.3%）、製造業 53人（7.3%）増加

##### ② 事故の型別

・死傷者数の多い事故の型

「転倒」525人、「無理な動作・動作の反動」413人、「墜落・転落」412人

- ・死傷者数の増加した事故の型  
「交通事故(道路)」 41人(47.7%)、「墜落・転落」 49人(13.5%)増加
- ・死傷者数の減少した事故の型  
「転倒」 77人(12.8%)、「はさまれ・巻き込まれ」 22人(6.5%)減少

(2) 死亡者数 14人 前年比 4人(40.0%)増加

《 前年と比較した主な特徴 》

① 業種別

- ・死亡者数の多い業種  
建設業6人、製造業5人
- ・死亡者数の増加した業種  
建設業 4人(前年 2人)、製造業 3人(前年 2人)増加
- ・死亡者数の減少した業種  
商業 2人(前年 2人)減少

② 事故の型別

- ・死亡者数の多い事故の型  
「激突され」3人、「はさまれ・巻き込まれ」3人、「交通事故(道路)」3人
- ・死亡者の増加した事故の型  
「激突され」 3人(前年 0人)、「崩壊・倒壊」 2人(前年 0人)増加
- ・死亡者の減少した事故の型  
「飛来・落下」 1人(前年 1人)減少

## 2 令和4年 労働災害発生状況(令和4年3月末日現在(速報値))

(1) 休業4日以上死傷者数 701人 前年同期比 249人(55.1%)増加

(2) 死亡者数 1人 前年同期比 4人(80.0%)減少

《 前年同期と比較した主な特徴 》

- ・死亡者数は減少、死傷者数は大幅に増加  
業種別では、保健衛生業(65人→223人)、接客娯楽業(22人→91人)、製造業(116人→145人)などで増加。建設業(52人→37人)などで減少。

資料1 「群馬労働局管内における労働災害発生状況」

資料2 「群馬労働局管内における労働災害の推移」

資料3 「令和3年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料4 「令和3年 死亡災害事例」

資料5 「令和3年 死亡災害発生状況」

資料6 「年別・事故の型別の労働災害発生件数」

資料7 「令和4年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料8 「令和4年 死亡災害事例」

## 群馬労働局管内における労働災害発生状況

## (1) 業種別の状況

## ア 死傷者数が多い業種

業種別	死傷者数	前年同期	前年同期比 増減数	増減率	全産業に占める割合	
製造業	784	731	53	7.3%	28.7%	
食料品	221	228	-7	-3.1%	製造業に 占める 割合	28.2%
金属製品	114	112	2	1.8%		14.5%
輸送用機械等	122	83	39	47.0%		15.6%
建設業	262	242	20	8.3%	9.6%	
土木工事	76	69	7	10.1%	2.8%	
建築工事	139	133	6	4.5%	5.1%	
その他の建設	47	40	7	17.5%	1.7%	
運輸交通業	321	316	5	1.6%	11.7%	
道路貨物運送	303	299	4	1.3%	11.1%	
商業	374	376	-2	-0.5%	13.7%	
小売業	285	284	1	0.4%	10.4%	
保健衛生業	421	323	98	30.3%	15.4%	
社会福祉施設	284	240	44	18.3%	10.4%	
その他	573	519	54	10.4%	21.0%	
合計	2,735	2,507	228	9.1%	100.0%	

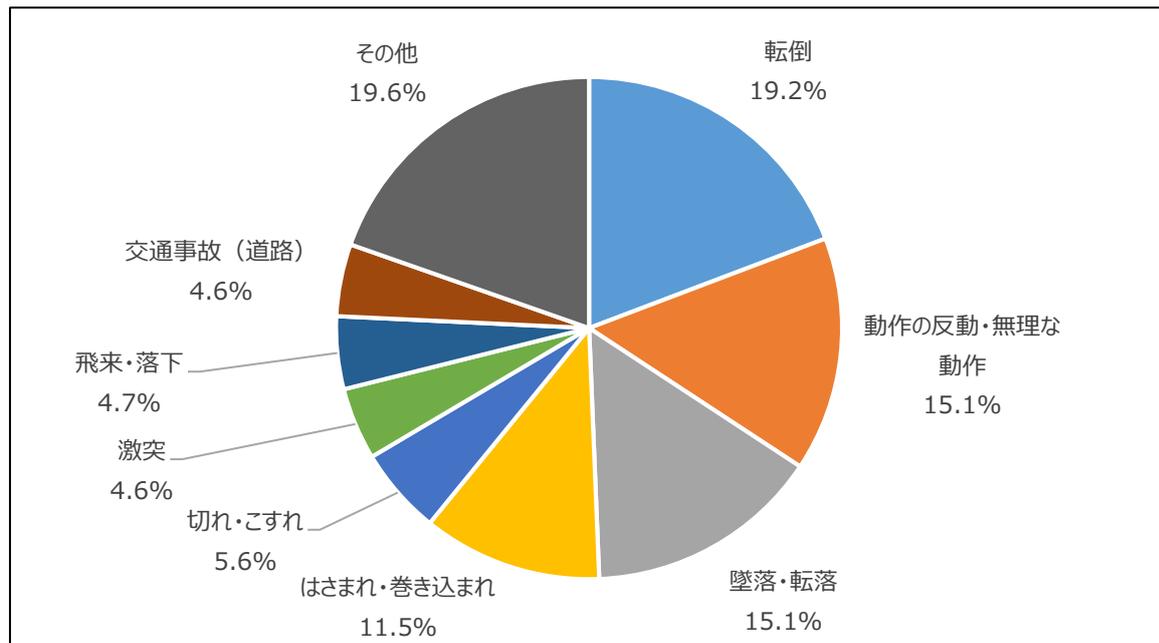
## イ 死亡災害発生状況

業種	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
製造業	7	3	1	2	5
建設業	3	6		2	6
運輸交通業	3	3	5	2	1
農林業	2	3	1	1	
商業	1		3	2	
保健衛生業		1			
接客娯楽業	1	1			
その他	3	3	1	1	2
合計	20	20	11	10	14

## (2) 事故の型別の状況

### ア 全産業

業種	転倒	無 理 な 動 作 の 反 動	墜 落 ・ 転 落	巻 き 込 ま れ ・ は さ ま れ	切 れ ・ こ す れ	激 突	飛 来 ・ 落 下	交 通 事 故 ( 道 路 )	そ の 他	合 計
全産業	525	413	412	314	153	127	128	127	536	2,735
割合	19.2%	15.1%	15.1%	11.5%	5.6%	4.6%	4.7%	4.6%	19.6%	100.0%
前年増減比	-12.8%	9.8%	13.5%	-6.5%	0.0%	-5.9%	4.1%	47.7%	61.0%	9.1%



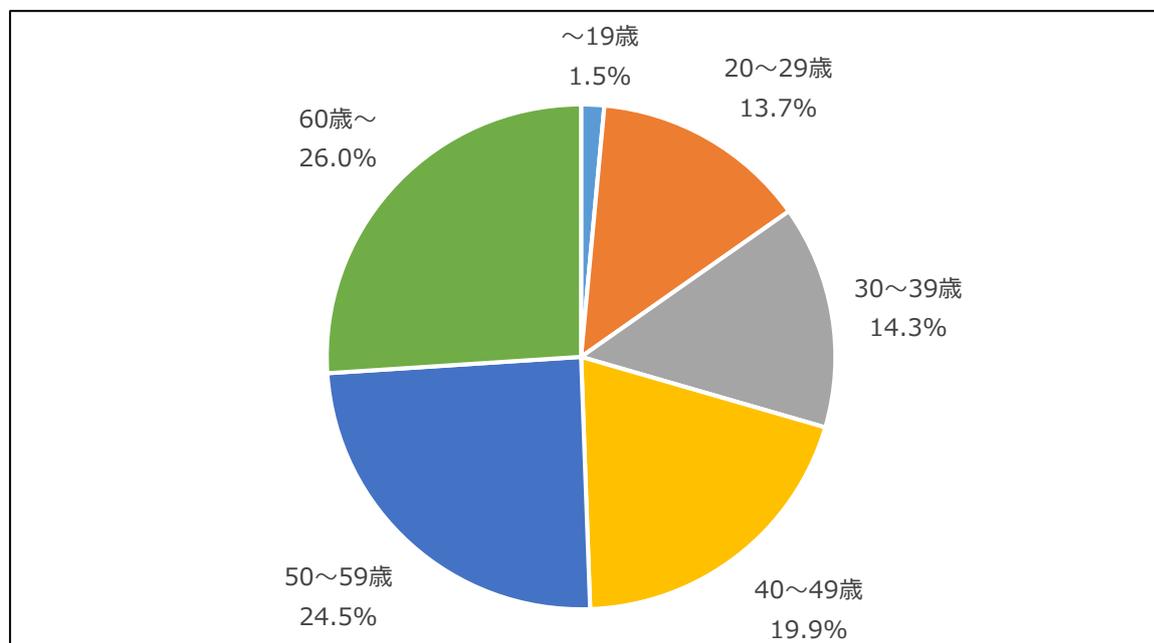
イ 死傷者数が多い業種

	転倒	無 理 な 動 作 の 反 動 ・	墜 落 ・ 転 落	巻 き 込 ま れ ・ は さ ま れ	切 れ ・ こ す れ	激 突	飛 来 ・ 落 下	交 通 事 故 ( 道 路 )	そ の 他	合 計
製造業	127	90	67	194	66	37	51	6	146	784
割合	16.2%	11.5%	8.5%	24.7%	8.4%	4.7%	6.5%	0.8%	18.6%	100.0%
前年増減比	-19.1%	-2.2%	19.6%	12.8%	-5.7%	-17.8%	6.3%	100.0%	65.9%	7.3%
建設業	21	30	84	28	18	16	27	6	32	262
割合	8.0%	11.5%	32.1%	10.7%	6.9%	6.1%	10.3%	2.3%	12.2%	100.0%
前年増減比	-16.0%	30.4%	21.7%	-9.7%	-18.2%	33.3%	22.7%	-14.3%	3.2%	8.3%
運輸交通業	46	55	111	22	5	16	15	14	37	321
割合	14.3%	17.1%	34.6%	6.9%	1.6%	5.0%	4.7%	4.4%	11.5%	100.0%
前年増減比	-19.3%	52.8%	26.1%	-47.6%	66.7%	-20.0%	-6.3%	-22.2%	2.8%	1.6%
道路貨物運送	39	52	108	21	5	14	15	13	36	303
割合	12.9%	17.2%	35.6%	6.9%	1.7%	4.6%	5.0%	4.3%	11.9%	100.0%
前年増減比	-25.0%	52.9%	25.6%	-48.8%	66.7%	-26.3%	-6.3%	0.0%	2.9%	1.3%
商業	95	68	41	28	18	20	17	34	53	374
割合	25.4%	18.2%	11.0%	7.5%	4.8%	5.3%	4.5%	9.1%	14.2%	100.0%
前年増減比	-28.6%	-2.9%	2.5%	-28.2%	-5.3%	42.9%	54.5%	30.8%	120.8%	-0.5%
小売業	80	54	26	17	12	13	13	32	38	285
割合	28.1%	18.9%	9.1%	6.0%	4.2%	4.6%	4.6%	11.2%	13.3%	100.0%
前年増減比	-27.3%	-5.3%	4.0%	-26.1%	-7.7%	18.2%	62.5%	39.1%	171.4%	0.4%
保健衛生業	79	109	25	8	8	9	1	9	173	421
割合	18.8%	25.9%	5.9%	1.9%	1.9%	2.1%	0.2%	2.1%	41.1%	100.0%
前年増減比	-12.2%	16.0%	78.6%	0.0%	0.0%	-25.0%	-66.7%	200.0%	90.1%	30.3%
社会福祉施設	59	84	14	5	6	7	1	5	103	284
割合	20.8%	29.6%	4.9%	1.8%	2.1%	2.5%	0.4%	1.8%	36.3%	100.0%
前年増減比	0.0%	9.1%	16.7%	0.0%	-14.3%	-36.4%	0.0%	150.0%	56.1%	18.3%

### (3) 年齢別の状況

#### ア 全産業

業種	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	合計
全産業	40	376	391	545	671	712	2,735
割合	1.5%	13.7%	14.3%	19.9%	24.5%	26.0%	100.0%
前年増減比	29.0%	22.9%	24.5%	8.3%	5.3%	-0.6%	9.1%

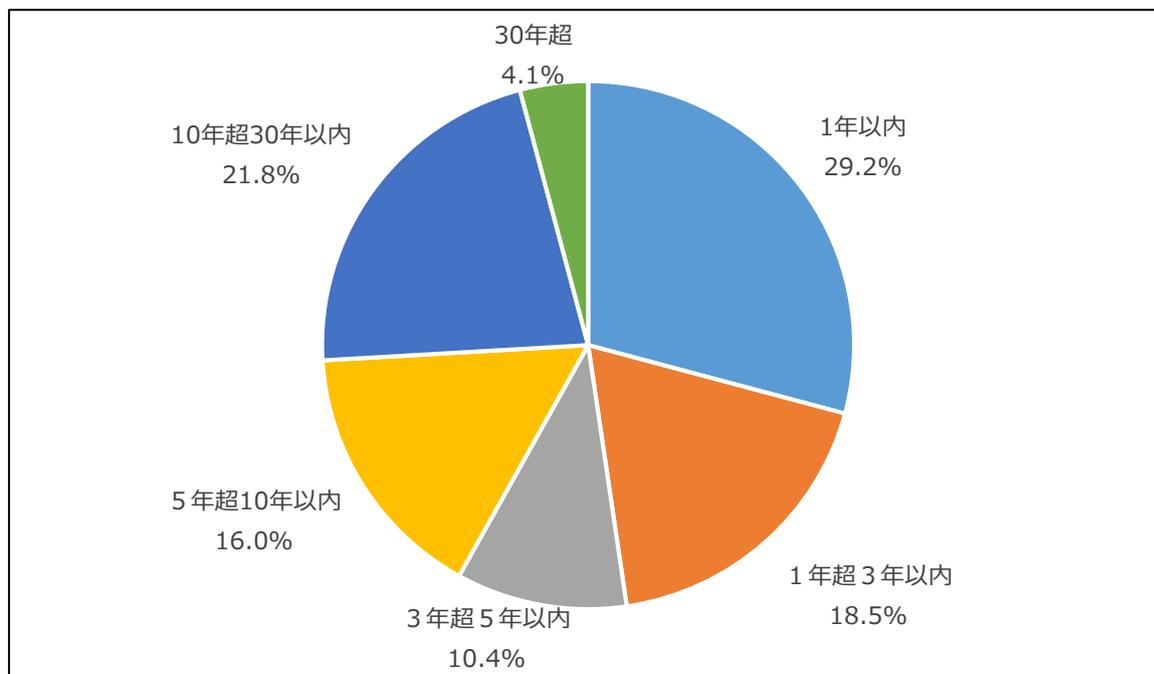


イ 死傷者が多い業種

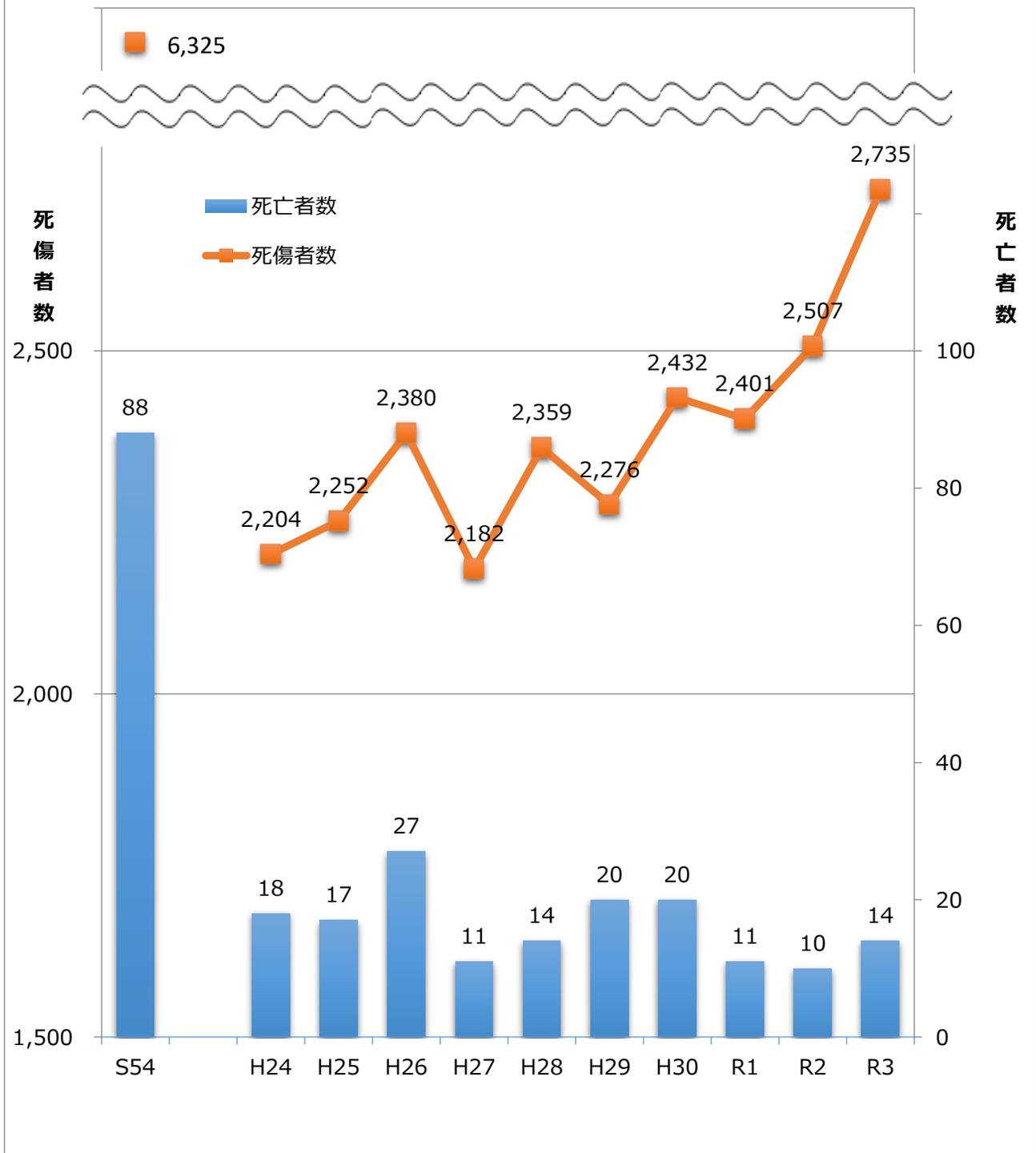
	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
製造業	10	134	144	167	189	140	784
割合	1.3%	17.1%	18.4%	21.3%	24.1%	17.9%	100.0%
前年増減比	42.9%	18.6%	23.1%	10.6%	-1.6%	-7.3%	7.3%
建設業	6	51	39	58	41	67	262
割合	2.3%	19.5%	14.9%	22.1%	15.6%	25.6%	100.0%
前年増減比	200.0%	15.9%	14.7%	11.5%	24.2%	-13.0%	8.3%
運輸交通業	2	22	34	73	127	63	321
割合	0.6%	6.9%	10.6%	22.7%	39.6%	19.6%	100.0%
前年増減比	-50.0%	-24.1%	30.8%	-13.1%	19.8%	-6.0%	1.6%
道路貨物運送	2	22	32	71	119	57	303
割合	0.7%	7.3%	10.6%	23.4%	39.3%	18.8%	100.0%
前年増減比	-50.0%	-18.5%	33.3%	-11.3%	14.4%	-5.0%	1.3%
商業	4	50	51	67	93	109	374
割合	1.1%	13.4%	13.6%	17.9%	24.9%	29.1%	100.0%
前年増減比	-20.0%	31.6%	41.7%	-1.5%	-8.8%	-14.2%	-0.5%
小売業	4	33	33	47	77	91	285
割合	1.4%	11.6%	11.6%	16.5%	27.0%	31.9%	100.0%
前年増減比	-20.0%	26.9%	22.2%	-6.0%	8.5%	-13.3%	0.4%
保健衛生業	7	50	58	85	102	119	421
割合	1.7%	11.9%	13.8%	20.2%	24.2%	28.3%	100.0%
前年増減比	600.0%	92.3%	28.9%	37.1%	18.6%	15.5%	30.3%
社会福祉施設	3	24	34	53	74	96	284
割合	1.1%	8.5%	12.0%	18.7%	26.1%	33.8%	100.0%
前年増減比	---	33.3%	0.0%	15.2%	15.6%	23.1%	18.3%

(4) 経験年数別の状況

	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 30年以内	30年超	合計
全産業	798	506	284	438	596	113	2,735
R2	774	441	224	363	590	115	2,507
割合	29.2%	18.5%	10.4%	16.0%	21.8%	4.1%	100.0%
前年増減比	3.1%	14.7%	26.8%	20.7%	1.0%	-1.7%	9.1%



### 群馬労働局管内における労働災害の推移



## 令和3年 労働者死傷病報告受理件数表

令和4年3月末確定  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		2	1		1			1	5	2	3
	108	307	72	217	22	48	10	784	731	53	
食 料 品 製 造 業		30	126	9	34	11	10	1	221	228	-7
	58	99	18	40	16	15	16	262	242	20	
建 設 業		3	1			2			6	2	4
	58	99	18	40	16	15	16	262	242	20	
木 造 家 屋 等 建 築 工 事 業			1						1		1
	13	23	1				1	2	40	37	3
運 輸 交 通 業			1						1	2	-1
	56	155	20	68	7	10	5	321	316	5	
道 路 貨 物 運 送 業			1						1	2	-1
	49	147	20	67	6	10	4	303	299	4	
林 業	4	3	6	1	4	2	4	24	1	-1	
小 売 業	70	103	29	52	9	15	7	285	284	-2	
社会福祉施設	60	106	52	37	8	15	6	284	240	44	
接 客 娯 楽 業		21	46	8	22	19	6	25	147	143	4
	飲 食 店	11	28	4	17	1	2		63	63	
上 記 以 外 の 事 業		1	1						2	1	1
	117	297	45	100	29	17	23	628	525	103	
清 掃 ・ と 畜 業		1							1		1
	16	45	8	19	5		3	96	99	-3	
計	6	4		1	2		1	14	10	4	
	494	1,116	250	537	114	128	96	2,735	2,507	228	
前 年 同 期	2	3	2	2			1	10			
	522	1,009	162	508	119	102	85	2,507			
増 減	4	1	-2	-1	2			4			
	-28	107	88	29	-5	26	11	228			

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事 故 の 型 別	墜落・転落	1				1		2	2		
		86	170	35	65	23	14	19	412	363	49
	転倒				1				1		1
		103	201	40	96	33	28	24	525	602	-77
	はさまれ・ 巻き込まれ	2						1	3	3	
	58	124	29	72	9	16	6	314	336	-22	
切れ・こすれ											
	23	67	10	33	9	5	6	153	153		
動作の反動・ 無理な動作											
	70	183	26	90	15	20	9	413	376	37	
起 因 物 別	建設機械等	1						1	1		
		9	12	1	3			2	28	25	3
	食品加工用機械										
	7	26	4	3	2			42	29	13	
トラック											
	1	1			1			3	1	2	
	39	83	17	42	8	10	3	202	183	19	
外国人の災害									2	-2	
	18	108	12	55	11	8	2	214	181	33	
建設公共工事の 災害											
	2				1			3	2	1	
	10	11	4	6	4	6	7	48	34	14	

注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。

注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

## 令和3年 死亡災害事例

令和4年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 21時頃 1～9人	70歳代 作業員	倉庫2階において、天井クレーンで凍結防止剤を散布車へ積込む作業の準備中に、搬入口の開口部（高さ4.4m）から墜落した。	土木工事業	墜落、転落	開口部
2	1月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	高速道路のインターチェンジ出口付近の伐採作業現場において、撤収作業のため高所作業車の後進を誘導していた被災者が同車に轢かれた。	土木工事業	交通事故（道路）	高所作業車
3	1月 11時頃 1～9人	20歳代 土工	浄化槽埋設のための掘削作業において、打設した鋼矢板の一部が傾いてきたので、当該鋼矢板を一旦外し、掘削部内で2名で地ならしをしていたところ、地山が崩壊し、1名が全身埋まり、もう1名が膝まで埋まった。	土木工事業	崩壊、倒壊	地山、岩石
4	1月 8時頃 1～9人	20歳代 運転者	木造住宅新築工事現場において、搬入した建材（約縦300×横90×厚1cm）35枚の束（ラップで結束。重さ約350kg）をナイロンスリング2本を使用してホイールクレーンのフックに玉掛けし、荷台上で介添えをしようとしていたところ、つり荷が背部、頭部に激突した。	道路貨物 運送業	激突され	木材、竹材
5	3月 16時頃 10～29人	30歳代 作業員	コンクリートブロック成型機の型を代えるため、エアを抜いてボルト締めをしていたところ、成型機上部が下降し、成型機上部と下部の間に頭部がはさまれた。	窯業・ 土石製品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力 機械
6	5月 13時頃 1～9人	70歳代 土工	S造2階建て新築工事において、ドラグ・ショベルで碎石の山を移動させていた被災者が降車し、当該ドラグ・ショベルのアーム等の様子を確認していたところ、別の作業員が後進させたダンプトラックのあたりとドラグ・ショベルのアームとの間に胸部、頭部をはさまれた。	建築工事業	激突され	トラック
7	6月 10時頃 100～299人	30歳代 鍛造工	ショットブラスト機で、鍛造前の材料をブラスト処理する作業において、付属の巻上装置にて材料の入ったバケットをつり上げ、材料を投入口に自動搬送していたところ、投入口付近を覗き込んでいた被災者が、ショットブラスト機の扉とバケットに頭部をはさまれた。	製鉄・ 製鋼・ 圧延業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 金属加工用 機械
8	6月 14時頃 30～49人	40歳代 作業員	天井クレーンを使用して、鉄鋼スラグの入っている容器「スラグパン」をつり上げたところ、スラグパンが振れ、隣接のスラグパンとの間に頭部をはさまれた。	その他の 鉄鋼業	激突され	クレーン
9	6月 11時頃 1～9人	50歳代 運転者	堆肥で使用する木くずを運送するため、トラックを運転して県道を走行中、急カーブを曲がり切れず、ガードレールを突き破って、20m下の国道に転落した。	産業廃棄物 処理業	交通事故（道路）	トラック

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
10	7月 11時頃 1～9人	70歳代 作業者	工場内において、被災者が何らかの原因で転倒し、近くのフライス盤の角に左前頭部をぶつけ、そのまま床に倒れ後頭部を打った。	機械器具 製造業	転倒	作業床、 歩み板
11	9月 8時頃 1～9人	50歳代 作業者	法面工事現場において、作業を始めるため法面を昇っていたところ、親綱が法枠を構成する金網に擦れて切れ、約10mの高さから墜落した。（ライフラインに安全帯が取り付けられていなかった。）	砂防工事業	墜落、転落	その他の 用具
12	9月 17時頃 10～29人	40歳代 製材工	全自動ツインバンドソーによる木材加工作業において、加工中の木材が、搬出される箇所とは異なる箇所へ落ちたため、その木材を取り除こうとしたところ、次工程へ木材を搬送するリフトの経路上で、リフトに腹部をはさまれた。	製材業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機
13	11月 13時頃 1～9人	60歳代 解体工	2階建て木造建築物の解体作業現場において、コンクリートブロック壁（高さ約2m×長さ約6m×幅0.15m）を解体中、解体ガラの整理作業を行っていた作業員が倒れてきたコンクリートブロック壁の下敷きになった。	木造家屋建 築工事業	崩壊、倒壊	建築物、 構築物
14	12月 12時頃 100～299人	40歳代 警備員	高速道路のパーキング入口付近において、路面工事による車線規制のため、規制区域内に設置した規制材の点検作業をしていたところ、規制区域内に進入してきた一般トラックに轢かれた。	警備業	交通事故 （道路）	トラック

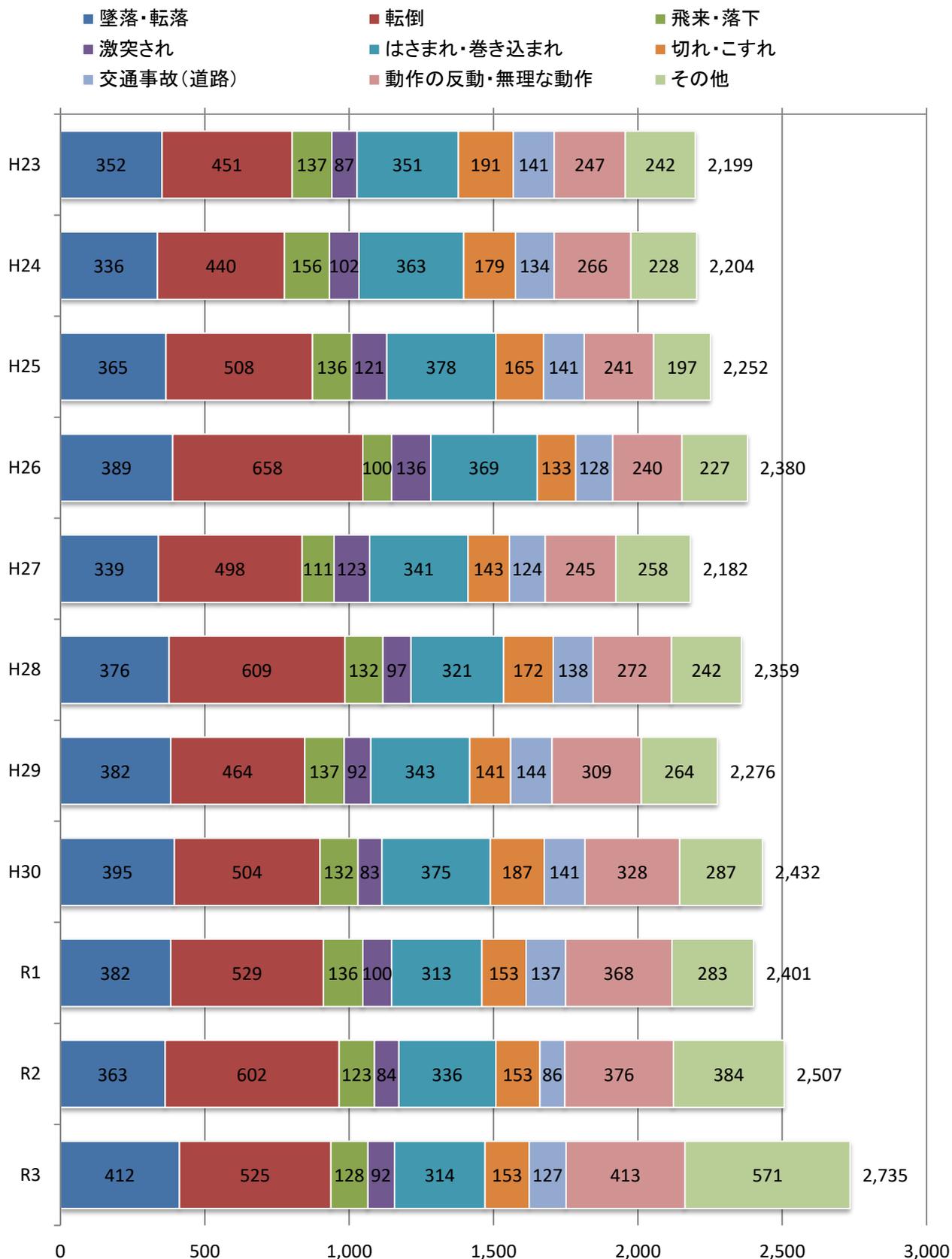
## 令和3年 死亡災害発生状況

令和4年3月末確定

群馬労働局

	令和元年	令和2年	令和3年	対元年比	対2年比
製造業	1	2	5	4	3
建設業		2	6	6	4
運輸交通業	5	2	1	-4	-1
林業		1			-1
商業	3	2		-3	-2
接客娯楽業					
その他	2	1	2		1
計	11	10	14	3	4

## 年別・事故の型別の労働災害発生件数



## 令和4年 労働者死傷病報告受理件数表

令和4年3月末現在  
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		34	37	7	1 49	13	4	1	1 145	1 116	29
	食料品製造業	8	13		11	13	1	1	47	35	12
建 設 業		14	5	5	7	2	2	2	37	3 52	-3 -15
	木造家屋等 建築工事業	3	1				1		5	6	-1
運 輸 交 通 業		8	20	2	18	4	4	1	57	1 59	-1 -2
	道路貨物運送業	7	19	2	18	3	4		53	1 55	-1 -2
林 業		1	1			1	2		5	8	-3
小 売 業		13	18	8	10	7			56	48	8
社会福祉施設		26	14	1	40	25	32	18	156	41	115
接 客 娯 楽 業		7	6	2		70	2	4	91	22	69
	飲食店	4	4				1		9	8	1
上記以外の事業		54	33	6	24	30	3	4	154	106	48
	清掃・と畜業	3	9		2	2	1	1	18	18	
計		157	134	31	1 148	152	49	30	1 701	5 452	-4 249
前年同期		2 75	1 194			1 22		1 12	5 452		
増 減		-2 82	-1 -60		1 76	-1 130		-1 18	-4 249		

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事故の 型別	墜落・転落	16	20	1	17	10	4	1	69	1 84	-1 -15
	転倒	22	36	11	13	13	4	10	109	95	14
	はさまれ・ 巻き込まれ	15	11	4	1 21	2	4		1 57	1 48	9
	切れ・こすれ	9	11		4	1			25	22	3
	動作の反動・ 無理な動作	14	17	5	14	2	2		54	69	-15
起因物別	建設機械等				1		1		2	1 8	-1 -6
	食品加工用機械	2	3		2				7	7	
	トラック	6	5	2	9	1	2		25	35	-10
外国人の災害	7	13		12	9			41	19	22	
建設公共工事の 災害	1			2				3	2 12	-2 -9	

注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。

注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

## 令和4年 死亡災害事例

令和4年3月末現在  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢種 職 種	災害のあらまし	業 種	事故の型別	起因物別
1	2月 17時頃 10～29人	50歳代 作業者	自動車エアコンのコンプレッサー部品を製造するラインにおいて、当該部品を乗せるためのパレットの下降装置に頸部から上を挟まれた。	自動車・同付属品 製造業	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機